

CATALOG GENERATION SYSTEM

Patent Number: JP11161673
Publication date: 1999-06-18
Inventor(s): YANO KAZUO
Applicant(s): KAWAGUCHI YASUO
Requested Patent: JP11161673
Application Number: JP19970330531 19971201
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F17/30 ; G06F13/00 ; H04L29/06 ; H04M11/08 ; H04N7/173
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a catalog generation system which can easily generate a catalog in a short time.

SOLUTION: Catalog data for generating a catalog data on a WWW server connected to the Internet are managed together as a catalog data base, and when browsers on personal computers 12 to 15 are connected to the WWW server 21, the catalog data base is operated according to input content on a specific input screen while the input screen is displayed, so that contents of the catalog data base can be shared in real time and the catalog can easily be generated in a short time on this catalog generation system.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-161673

(43)公開日 平成11年(1999)6月18日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 06 F 17/30		G 06 F 15/40 370 B
13/00	351	13/00 351 G
H 04 L 29/06		H 04 M 11/08
H 04 M 11/08		H 04 N 7/173
H 04 N 7/173		G 06 F 15/40 310 F
	審査請求 有 請求項の数9 OL (全11頁) 最終頁に続く	

(21)出願番号 特願平9-330531

(71)出願人 597167715

川口 康雄

名古屋市熱田区五本松町1-12

(22)出願日 平成9年(1997)12月1日

(72)発明者 矢野 一生

名古屋市昭和区川原通4-1-2

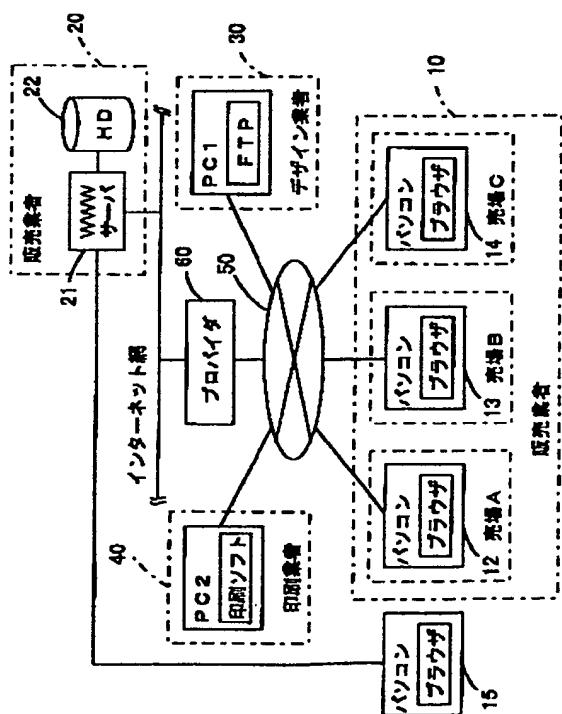
(74)代理人 弁理士 横井 俊之

(54)【発明の名称】 カタログ作成システム

(57)【要約】

【課題】 カタログの作成時間が多大になってしまうことがあった。

【解決手段】 インターネット網に接続されたWWWサーバ21にてカタログを作成するためのカタログデータをカタログデータベースとして一括管理するとともに、パソコン12～15のブラウザからWWWサーバ21に接続したときに、所定の入力画面を表示させつつ、同入力画面における入力内容に応じてカタログデータベースを操作するようにしたため、カタログデータベースの内容をリアルタイムで共有することができ、カタログを容易、かつ短時間で作成することが可能なカタログ作成システムを提供することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広域ネットワークを介して接続されて双方で通信可能なサーバとクライアントとからなるカタログ作成システムであって、

上記サーバは、

各種商品のカタログを作成するためのカタログデータを記憶するカタログデータベースと、

上記クライアントに対して所定のグラフィカルユーザインターフェイスにて構成される入力画面情報を送信しつつ当該入力画面における入力内容に応じて上記カタログデータを操作して操作結果を返送するカタログデータ操作手段とを備え、

上記クライアントは、

上記入力画面情報に基づいて入力画面を表示するとともに同入力画面における入力内容を上記サーバに対して送信するブラウザを具備することを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項2】 上記請求項1に記載のカタログ作成システムにおいて、上記サーバとクライアントはTCP/IPプロトコルにて接続されることを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項3】 上記請求項1または請求項2のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータは所定のテキストデータと当該テキストデータとは別の記憶領域に記憶された画像データとからなり、上記カタログデータベースは両者をリンクして記憶することを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項4】 上記請求項1または請求項2のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータは画像データを含んでおり、当該画像データはポジフィルムの縮小サイズにて構成されることを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項5】 上記請求項4に記載のカタログ作成システムにおいて、上記クライアントは、所定のカタログレイアウトに基づいて上記カタログデータベースを参照しつつ、上記画像データを使用してカタログ印刷に利用することを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項6】 上記請求項1～請求項5のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータベースは、上記カタログデータをページ管理して記憶することを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項7】 上記請求項1～請求項6のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、上記カタログデータを操作するにあたり、所定のセキュリティチェックを行うことを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項8】 上記請求項7に記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、利用者毎に割り振られたIDを用いて上記セキュリティチェックを行い、当該セキュリティチェックを経由した場合に

同IDに応じて操作可能なカタログデータを制限することを特徴とするカタログ作成システム。

【請求項9】 上記請求項1～請求項8のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、上記ブラウザからの入力に応じて異なる入力画面情報を階層的に送信して各種のデータ操作を行うことを特徴とするカタログ作成システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10 【発明の属する技術分野】 本発明は、商品カタログの作成に使用して好適なカタログ作成システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のカタログ作成方法について、図15を参照しつつ説明する。同図において、まず、販売業者1におけるカタログ作成の担当部署1aはカタログ作成を制作業者2に依頼する。すると、担当部署1aは、制作業者2からカタログに掲載する各商品についての商品番号や価格などの各種の商品情報の提出を要求されるので、所定のフォーマットに従って同商品情報をテキスト入力し、フロッピーディスクなどの汎用的な記憶媒体に記憶して制作業者2に渡す(図中①)。そして、制作業者はこの記憶媒体を受け取って実際にカタログを印刷する印刷業者3に渡す(図中②)。

【0003】 一方、制作業者2はカタログのレイアウト作成やカタログに掲載する商品写真の撮影をデザイン業者4に依頼しており、当該デザイン業者4は販売業者1の各売場から商品を撮出して写真を撮影するとともに(図中③)、撮影された写真をポジとして作成したレイアウトとともに印刷業者3に渡す(図中④)。印刷業者3では制作業者2から受け取った記憶媒体からコンピュータ3aにて商品情報を読み出すとともに、デザイン業者4から受け取ったポジをデジタル化して取り込み、同商品情報とポジとをリンクさせつつ受け取ったレイアウトに従ってカタログを作成し、コンピュータ3aのハードディスク3bなどに保存して仮印刷する(図中⑤)。

【0004】 仮印刷されたカタログは制作業者2に渡され、当該制作業者2は販売業者1の担当部署1aに仮印刷されたカタログのチェックを依頼する。ここにおいて、商品情報に誤字などがあれば、担当部署1aは制作業者2に対して校正を依頼する(図中⑥)。校正を依頼された制作業者2は、印刷業者3に修正を指示し、印刷業者3はハードディスク3bに保存されたカタログを読み出して修正する。また、誤った商品の写真が掲載されている場合は、デザイン業者4は再度販売業者1の売場から商品を撮出して写真を撮り直してポジを印刷業者3に渡し、印刷業者3はハードディスク3b上に保存されたカタログの写真を置き換えるなどする。以上のようにして、全ての修正が終了すると印刷業者3は本印刷を行ってカタログを撮出する(図中⑦)。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来のカタログ作成方法においては、次のような課題があった。商品情報や写真などを手渡して行っているため、時間的なロスが多くカタログ完成までの時間が多大になってしまることがあった。また、仮印刷されたカタログに修正などがある場合は、制作業者2を経由して印刷業者3に修正を依頼しなければならず、さらに時間がかかってしまうことになりかねなかった。

【0006】本発明は、上記課題にかんがみてなされたもので、カタログを容易、かつ短時間で作成することが可能なカタログ作成システムの提供を目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1にかかる発明は、広域ネットワークを介して接続されて双方で通信可能なサーバとクライアントとからなるカタログ作成システムであって、同サーバは、各種商品のカタログを作成するためのカタログデータを記憶するカタログデータベースと、上記クライアントに対して所定のグラフィカルユザインターフェイスにて構成される入力画面情報を送信しつつ当該入力画面における入力内容に応じて上記カタログデータを操作して操作結果を返送するカタログデータ操作手段とを備え、上記クライアントは、上記入力画面情報に基づいて入力画面を表示するとともに同入力画面における入力内容を上記サーバに対して送信するブラウザを備えた構成としてある。

【0008】上記のように構成した請求項1にかかる発明においては、サーバとクライアントは広域ネットワークを介して双方で通信可能であり、サーバはカタログデータ操作手段を用いて所定のグラフィカルユザインターフェイスにて構成される入力画面情報を同クライアントに対して送信する。すると、クライアントのブラウザは同入力画面情報に基づいて入力画面を表示する。ここで、利用者が入力を行うとその入力内容がサーバに送信され、サーバのカタログデータ操作手段は、同入力内容に応じてカタログデータベース上のカタログデータを操作して操作結果をクライアントに送信する。

【0009】ここにおける広域ネットワークとは、いわゆる社内LANなど、ある一定の狭い枠内で閉じたネットワーク以外のあらゆるネットワークのことを意味し、その規模が一般的に広範であるかといったこと問題となるないし、商用ネットワークであるかプライベートネットワークであるかといった種別も問題とはならない。

【0010】さらには、採用するプロトコルについても全くの任意であり、各種のものを適用してもかまわないが、好適な一例として、請求項2にかかる発明は、請求項1に記載のカタログ作成システムにおいて、上記サーバとクライアントはTCP/IPプロトコルにて接続される構成としてある。すなわち、広域ネットワーク網と

して代表的なインターネットで採用されているプロトコルであるTCP/IPを用いてサーバとクライアントとを接続する。

【0011】一般にカタログを作成するためのカタログデータとしては、商品名や商品番号およびその価格などのテキストデータのほか、商品見本としての画像データが含まれることが多い。このように、カタログデータに画像データが含まれる場合に使用して好適なカタログデータベースの一例として、請求項3に記載のカタログ作成システムは、請求項1または請求項2のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータは所定のテキストデータと当該テキストデータとは別の記憶領域に記憶された画像データとからなり、上記カタログデータベースは両者をリンクして記憶する構成としてある。

【0012】すなわち、カタログデータを構成するテキストデータと画像データは、それぞれ別の記憶領域に記憶されており、カタログデータベースはテキストデータと画像データとをリンクして記憶する。例えば、あるテキストデータに対して誤った画像データがリンクされて記憶されていたものとする。一般的にカタログデータがテキストデータと画像データで構成される場合、テキストデータの作成と画像データの作成は分担して行われ、それぞれクライアントからサーバのカタログデータベースに登録される。従って、画像データの作成担当者は修正対象の画像データがいずれのテキストデータにリンクされているかを意識する必要はなく、本来の画像データに置き換えるなどして修正する。むろん、テキストデータと画像データの記憶領域は、物理的に別個である必要はなく、少なくとも論理的に別個であればよい。従って、テキストデータと画像データがそれぞれ異なるファイルに記憶される場合などが含まれる。

【0013】カタログデータとして使用する画像データは各種の形態のものを適用可能である。例えば、デジタルカメラを用いて商品を撮影し、所定のファイル形式で取り出されるものであってもよい。また、別の一例として、請求項4にかかる発明は、請求項1または請求項2のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータは画像データを含んでおり、当該画像データはポジフィルムの縮小サイズにて構成してある。すなわち、従来よりカタログに掲載する画像としては、ポジフィルムを縮小サイズで利用しており、縮小サイズの画像データとしてカタログデータベースに記憶しておく。

【0014】また、このようなポジフィルムを利用した場合の実際のカタログ印刷に使用して好適な一例として、請求項5にかかる発明は、請求項4に記載のカタログ作成システムにおいて、上記クライアントは、所定のカタログレイアウトに基づいて上記カタログデータベースを参照しつつ、上記画像データを使用してカタログ印

刷に利用する構成としてある。すなわち、クライアントにて所定のカタログレイアウトに基づいてカタログデータベースを参照しながら、上記のようなポジフィルムの縮小サイズにて構成される画像データを用いてカタログ印刷を行う。

【0015】カタログデータベース上におけるカタログデータの検索を行う場合、商品名や商品番号など、各商品においてユニークな検索キーを用いて行うなどすればよいが、検索時の利便性を向上させる一例として、請求項6にかかる発明は、請求項1～請求項5のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータベースは、上記カタログデータをページ管理して記憶する構成としてある。すなわち、カタログデータベースは、実際のカタログページでカタログデータを管理しており、検索時などに使用する。

【0016】さらに、かかるカタログ作成システムが一般利用者も接続可能な広域ネットワークに接続されることがあるため、カタログデータの不正改ざんを防止するための安全対策を講じるようにもよい。その一例として、請求項7にかかる発明は、請求項1～請求項6のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、上記カタログデータを操作するにあたり、所定のセキュリティチェックを行う構成としてある。すなわち、カタログデータ操作手段は、カタログデータを操作するにあたり、所定のセキュリティチェックを行い、当該セキュリティチェックを経由した利用者に対してカタログデータの操作を可能とする。

【0017】このようなセキュリティチェックとしては、利用者毎のIDを利用する手法が多く用いられており、このIDを利用したセキュリティチェックの好適な一例として、請求項8にかかる発明は、請求項7に記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、利用者毎に割り振られたIDを用いて上記セキュリティチェックを行い、当該セキュリティチェックを経由した場合に同一IDに応じて操作可能なカタログデータを制限する構成としてある。

【0018】すなわち、カタログデータ操作手段は、各利用者に予め割り振られたIDを用いてセキュリティチェックを行い、このセキュリティチェックを経由した場合に、IDによって操作できるカタログデータの範囲を制限する。例えば、いわゆるスーパーユーザ的な利用者に対しては、全てのカタログデータを操作可能とし、通常の利用者に対しては操作できるカタログデータの範囲を限定する場合などが含まれる。

【0019】上述したように、カタログデータ操作手段は所定の入力画面情報をクライアントに対して送信し、その入力内容に応じてカタログデータベース上のカタログデータを操作する。もちろん、データの操作内容としては、新規入力や編集などの更新系の操作や、検索などの閲覧系の操作など各種内容のデータ操作を実行できるよ

うにしておけば好適である。

【0020】そこで、このような各種のデータ操作を実行する場合のカタログデータ操作手段の具体的な構成の一例として、請求項9にかかる発明は、請求項1～請求項8のいずれかに記載のカタログ作成システムにおいて、上記カタログデータ操作手段は、上記ブラウザからの入力に応じて異なる入力画面情報を階層的に送信して各種のデータ操作を行う構成としてある。

【0021】すなわち、カタログデータ操作手段は一の10入力画面情報を送信し、クライアントのブラウザは同入力画面情報に基づいて入力画面の表示を行う。ここで、利用者が所望の入力を行うと、その入力内容に応じてカタログデータ操作手段は次なる入力画面情報を送信する。以降、同様にして利用者の入力内容に応じて階層的に入力画面情報が送信され、所望のデータ操作が行われる。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、遠隔地などからグラフィカルユーザインターフェイスの入力画面に従ってカタログデータを操作できるようにしたため、カタログを容易、かつ短時間で作成することが可能なカタログ作成システムを提供することができる。

【0023】また、請求項2にかかる発明によれば、サーバとクライアントとをTCP/IPプロトコルにて接続するようにしたため、容易にインターネットに接続することができる。

【0024】さらに、請求項3にかかる発明によれば、カタログデータを構成するテキストデータと画像データを別個の記憶領域に記憶するようにしたため、各々独立して修正することができる。

【0025】さらに、請求項4にかかる発明によれば、従来から利用されているポジフィルムを用いるようにしたため、システム導入による混乱が少ない。

【0026】さらに、請求項5にかかる発明によれば、ポジフィルムを用いた場合のカタログ印刷時に好適である。

【0027】さらに、請求項6にかかる発明によれば、カタログデータを実際のカタログページで管理するようにしたため、カタログデータ検索時の利便性を向上させることができる。

【0028】さらに、請求項7にかかる発明によれば、カタログデータを操作するにあたり、セキュリティチェックを行うようにしたため、データの不正改ざんに対する安全性を向上させることができる。

【0029】さらに、請求項8にかかる発明によれば、利用者毎のIDを用いて操作可能なカタログデータを制限するようにしたため、データの不正改ざんに対する安全性を向上させることができる。

【0030】さらに、請求項9にかかる発明によれば、入力画面における入力内容に応じて階層的に入力画面情

報を送信しながらカタログデータを操作するようにしたため、操作方法が分かりやすい。

【0031】

【発明の実施の形態】以下、図面にもとづいて本発明の実施形態を説明する。図1は、本発明の一実施形態にかかるカタログ作成システムを適用した場合のカタログ作成過程を概略図により示しており、図2は、具体的なネットワーク構成をブロック図により示している。図において、まず販売業者10におけるカタログ作成の担当部署11は、制作業者20にカタログ作成を依頼する（図中①）。すると、制作業者20は、自己の所有するインターネット網に接続されたWWWサーバ21にて後述するように所定のディレクトリの作成やデータベースの構築、各種スクリプトの準備や利用者登録などのセットアップを行う（図中②）。

【0032】このWWWサーバ21は、いわゆるUNIXワークステーションで構成されており、WWWサーバ21のハードディスク22は、図3に示すようなディレクトリ構成をとっている。同図において、「/etc」、「/usr」、「/tmp」はシステム用のディレクトリであり、「/home」をユーザ用のディレクトリとして使用している。さらに、「/home」の配下には「scp」、「img」、「dat」からなるサブディレクトリが作成されており、「/home/scp」はhtmlスクリプトや、いわゆるCGIインターフェイスにて記述されたCGIスクリプトを格納するためのディレクトリであり、一般ユーザ用のホームディレクトリである。

【0033】ここにおいて、CGIスクリプトとは所定のCGIインターフェイス規約に従って記述されたスクリプトであり、具体的な内容については後に詳述するが、一般的な処理内容としては、所定の入力画面情報をブラウザに送信するとともに、ブラウザ側での入力画面における入力内容に応じて後述するカタログデータベースを操作してその結果をブラウザ側に返送する。本実施形態においては、スクリプトで構成しているが、もちろん、バイナリ形式の実行ファイルにて構成することも可能である。

【0034】また、「/home/img」はカタログに掲載する各種商品写真のデジタル画像データを格納するためのディレクトリであり、このディレクトリ配下には販売業者10の各売場に対応するように、「dealA」、「dealB」、「dealC」からなるサブディレクトリが作成されている。さらに、「/home/dat」は、各種のデータベースファイルを格納するためのディレクトリである。

【0035】制作業者20は、上記のようなWWWサーバ21のセットアップを行うとともに、カタログに掲載する商品写真の撮影と、カタログのレイアウト作成をデザイン業者30に依頼する。この依頼を受けてデザイン業者30は、販売業者10の売場（A～C）から商品

を撮出し、商品写真を撮影して縮小サイズのポジフィルムを作成するとともに、所定ファイル形式のデジタル画像データに変換し、公衆回線網50およびプロバイダ60を介してパソコンPC1からWWWサーバ21に伝送する（図中③）。なお、上述したように画像データの伝送先ディレクトリは「/home/img」配下のサブディレクトリ（dealA, dealB, dealC）であり、FTPユーティリティなどを用いて各売場毎の画像データを対応するサブディレクトリに伝送する。

- 10 【0036】一方、販売業者10の各売場A～Cには、それぞれパソコン12～14が設置されており、パソコン12～14についても同様に公衆回線網50およびプロバイダ60を介してWWWサーバ21に接続可能となっている。さらに、パソコン12～14は、それぞれ所定のブラウザを備えており、同ブラウザにてWWWサーバ21のURLを入力すると、ログイン後、上記ホームディレクトリに格納されたhtmlスクリプト（scp1.htm1）を参照および解析し、図4に示すようなIDおよびパスワードの入力画面表示を行う。なお、本20 実施形態においては、LAN経由で接続されたパソコン15を備えており、同様にしてWWWサーバ21に接続することができる。
- 【0037】システム利用者には予めIDとパスワードが割り振られており、ここで各自のIDおよびパスワードを入力する。すると、入力されたIDおよびパスワードはWWWサーバ21の側に送信され、当該WWWサーバ21の側では所定のCGIスクリプト（scp2.cgi）を実行し、図5のフローチャートに従って同IDおよびパスワードのチェックを行う。
- 30 【0038】同図において、ステップS110ではブラウザから入力されたIDおよびパスワードを読み込み、ステップS120にてパスワードファイル（dat1.dat）を検索する。このパスワードファイルは、制作業者20がカタログ作成依頼を受けた時点で準備するものであり、各レコードは図6に示すようなフォーマットにて構成される。すなわち、ステップS120では入力されたIDおよびパスワードを用いて各レコードの第二および第三フィールドを参照し、該当するレコードが存在するか否かを検知する。もちろん、このパスワードファイルは容易に参照されないように、適宜ファイル属性などを設定して保護しておく必要はある。
- 40 【0039】ここで、該当するレコードが存在する場合、ステップS140にて同レコードの第五フィールドを参照してアクセス権限を検知する。このアクセス権限とは、後述するカタログデータベースにおいて、利用者毎に可能なレコード操作内容を表しており、具体的には「新規入力、検索、チェック、編集入力」の四項目からなるレコード操作のそれについて「1」ならば操作可能とし、「0」ならば操作不可にする。例えば、全てのレコード操作を可能とする場合には、「1111」か

らなる四桁のビット列がセットされることになる。

【0040】ステップS140にてアクセス権限を検知した後、ステップS150で図7に示すようなメニュー画面をブラウザに表示させる。同図において、メニュー画面には上述した四項目の選択肢が表示されるようになっており、ここにおいてシステム利用者は所望のレコード操作を選択する。また、これらのレコード操作内容はステップS140で検知されたアクセス権限に基づいており、アクセス権限を付与されたレコード操作内容のみ選択でき、その他のレコード操作内容については画面上で反転させて選択できないようにしてある。

【0041】システム利用者が所望のレコード操作内容を選択すると、ステップS160にて選択された操作内容に応じて後述するような入力画面をブラウザに表示される。一方、ステップS130にて一致するIDおよびパスワードが存在しない場合、ステップS170にてアクセス不可を通知するためのエラー表示画面をブラウザに表示させる。

【0042】図7に示すメニュー選択画面において「新規入力」を選択した場合、ステップS160にて図8に示すような新規入力画面がブラウザに表示される。システム利用者は、この新規入力画面において、商品番号、商品名、価格や売場などの商品情報を入力する。なお、売場についてはオプションボタンで選択して入力する構成となっている。さらに、この時点でカタログの掲載ページが分かっていれば、そのページを入力して最後に写真選択の項目をクリックする。

【0043】すると、入力内容がWWWサーバ21の側に送信され、所定のCGIスクリプト(scp3.cgi)が実行される。このCGIスクリプトは図9に示すフローチャートに従って処理を実行する。同図において、ステップS210では同入力内容で選択された売場を検知する。そして、ステップS220では同検知された売場と関連づけられた商品写真格納用のディレクトリ(dealA, dealB, dealC)配下の画像データを図10の写真選択画面にてブラウザに表示させる。ここで、システム利用者は適宜スクロールバーを操作しながら所望の商品写真を選択して終了する。すると、ステップS230にて同商品写真を決定し、ステップS240にてカタログデータベースファイル(dat2.dat)に記録する。

【0044】図11は、同カタログデータベースファイルのレコードフォーマットを示している。同図において、各フィールドはテキストデータとして記録されており、選択された商品写真については画像データとしてのファイル名を内部的に取得して記録されるようになっている。すなわち、画像データに関しては、実体をカタログデータベースファイルの中に取り込むのではなく、ファイル名を上記のような商品情報とリンクしつつ別のファイルとして管理することになる。ここにおいて、例え

ば、ある商品情報に対して本来の商品写真とは異なる商品写真がリンクされて記憶されていたものとする。すると、デザイン業者30は再び販売業者10の売場から商品を搬出して写真撮影し、デジタル画像データに変換してWWWサーバ21の所定のディレクトリに伝送する。このとき、デザイン業者30は、商品番号や商品名などの商品情報を全く意識する必要はなく、単に同一ファイル名で所望の画像データを上書きするようにして更新すればよい。

【0045】一方、図7に示すメニュー選択画面において「検索」を選択すると、図12に示すような検索条件入力画面がブラウザに表示される。ここにおいて、システム利用者は所望の検索条件を入力すると、同検索条件がWWWサーバ21に送信されてCGIスクリプト(scp4.cgi)が実行される。このCGIスクリプトは、検索条件を入力として上述したカタログデータベースファイルから該当するレコードをリストアップしてブラウザに表示する。

【0046】また、図7のメニュー画面において「チェック」を選択すると、図13に示すチェック項目入力画面がブラウザに表示される。ここにおいてシステム利用者は、売場チェックとページチェックのいずれか一方を選択可能である。売場チェックを選択すると、同様に別のCGIスクリプトが実行されてブラウザに売場の入力画面が表示され、入力された売場を用いてカタログデータベースを検索して該当するレコードがブラウザに表示される。また、ページチェックについても同様であり、入力されたページに該当するレコードがブラウザに表示される。かかる構成とすることにより、システム利用者はカタログデータベースの内容を各種の形態でチェックすることが可能となる。

【0047】さらに、図7のメニュー画面において「編集入力」を選択すると、所定の編集入力画面がブラウザに表示され、所望のレコードを選択すると同様に所定のCGIスクリプトが起動されて同レコードを編集することができる。販売業者10のシステム利用者は、上述したような「新規入力、検索、チェック、編集入力」からなるレコード操作を適宜実行しながらカタログデータベースを構築し、レコードに誤りがないか否かをチェックするとともに必要に応じて修正する(図中④)。

【0048】以上のレコード操作をまとめると図14に示すようになる。ブラウザからWWWサーバ21のURLを入力すると、scp1.htm1によりIDおよびパスワードの入力画面が表示され、ここでID、パスワードを入力すると、scp2.cgiが実行されて入力されたIDおよびパスワードのチェックが行われるとともに、メニュー画面がブラウザに表示される。そして、このメニュー画面における選択内容に応じてscp3.cgi～scp6.cgiが実行されて各種のレコード操作が行われる。このように、階層的にスクリプトを実

行することにより、各々のレコード操作が実行されてその結果がブラウザに返送されることになり、従って、これらのスクリプトと、これらのスクリプトを実行するハードウェア環境とが全体としてカタログデータ操作手段を構成する。

【0049】上述したようにしてカタログデータベースが構築されると、印刷業者40は同様にインターネット網に接続されたパソコンPC2からカタログデータベースをダウンロードし（図中⑤）、専用の印刷ソフトなどに取り込むなどした後、デザイン業者30の作成したレイアウトに従って実際のカタログを作成して仮印刷を行い（図中⑥）、販売業者10のチェックを受ける（図中⑦）。上述したように、販売業者10の側では作成したカタログデータベースの内容を一度チェックしているため、この仮印刷の時点でデータの不整合などが発生している可能性は極めて低い。従って、この仮印刷時においてはデータの不整合に関するチェックよりも、むしろ配色などカタログの構成をチェックし、チェック完了後に印刷業者40は本印刷する（図中⑧）。

【0050】以上説明したように、カタログデータを構成する各種のデータは制作業者20のWWWサーバ21にて一括管理され、ネットワークを介してリアルタイムに共有することができる。従って、フロッピーディスクなどの記憶媒体を介してデータのやりとりを行う必要がなく、カタログ作成時間も全体として短縮される結果となる。さらに、ネットワークとしてインターネット網を利用することにより、新たにネットワークを構築する必要がなく、安価に構成することも可能である。むろん、インターネットには一般的な利用者も接続可能であるが、IDおよびパスワードによるセキュリティチェックを行うようにしているため、問題は生じない。

【0051】次に、上記のように構成した本実施形態の動作について説明する。まず、販売業者10は、制作業者20に対してカタログ作成を依頼する。すると、制作業者20は自己の所有するWWWサーバ21にてディレクトリの作成やデータベースの構築、利用者登録などのセットアップを行う。さらに、制作業者20はWWWサーバ21のセットアップを行うとともに、デザイン業者30にカタログに掲載する商品写真の撮影と、カタログのレイアウトの作成を依頼する。

【0052】デザイン業者30は、販売業者10の各売場（A～C）から商品を搬出して商品写真を撮影して縮小サイズのポジフィルムを作成するとともに、所定ファイル形式のデジタル画像データに変換し、公衆回線網50およびプロバイダ60を介してパソコンPC1からWWWサーバ21の所定ディレクトリに伝送する。さらに、カタログのレイアウトを作成して同様にパソコンPC1からWWWサーバ21の所定ディレクトリに伝送しておく。

【0053】販売業者10のシステム利用者は、各売場

に設置されたパソコン12～14にてブラウザを起動してWWWサーバ21のURLを入力する。すると、ログイン後、htmlスクリプト（scp1.html）を参照および解析し、図4に示すようなIDおよびパスワードの入力画面表示を行う。ここで、システム利用者は各自のIDおよびパスワードを入力する。

【0054】すると、入力されたIDおよびパスワードはWWWサーバ21の側に送信され、当該WWWサーバ21の側ではCGIスクリプト（scp2.cgi）を実行してブラウザから入力されたIDおよびパスワードを読み込み（ステップS110）、パスワードファイル（dat1.dat）を検索する。そして、入力されたIDおよびパスワードに該当するレコードが存在するか否かを検知するとともに（ステップS130）、該当するレコードが存在する場合、同システム利用者のアクセス権限を検知し（ステップS140）、同アクセス権限に応じて図7に示すような入力画面をブラウザに表示させる（ステップS150）。

【0055】ここにおいて、システム利用者は、最大で「新規入力、検索、チェック、編集入力」の四項目のレコード操作を選択可能であるが、上記のようなアクセス権限により制限される場合があり、このような場合には操作できないレコード操作についてメニュー画面上で反転表示させて選択できないようになっている。システム利用者は、操作可能な範囲内で所望のレコード操作を選択すると、その選択内容に応じてブラウザに入力画面が表示され、各入力画面において所定の入力を行う。すると、同入力内容がWWWサーバ21に送信されて選択したレコード操作に応じて各種のCGIスクリプト（scp3.cgi～scp6.cgi）が実行され、対応するレコード操作が行われてその結果がブラウザに返送される。

【0056】すなわち、システム利用者は、上記のような四項目からなるレコード操作を適宜選択し、カタログデータベースに新規登録するとともにチェックを行い、必要に応じて修正するなどしてカタログデータベースを構築する。また、本来の商品写真とは異なる商品写真がカタログデータベースに登録されている場合、デザイン業者30は再び販売業者10の売場から商品を搬出して写真撮影し、デジタル画像データに変換してWWWサーバ21の所定のディレクトリに伝送する。このとき、デザイン業者30は、商品番号や商品名などの商品情報を全く意識する必要はなく、同一ファイル名で所望の商品写真を上書きするようにして更新する。

【0057】以上のようにしてカタログデータベースが構築されると、印刷業者40はパソコンPC2からカタログデータをダウンロードし、専用の印刷ソフトなどに取り込むなどした後、デザイン業者30の作成したレイアウトに従って実際のカタログを作成して仮印刷を行う。販売業者10は仮印刷されたカタログについて構成

13

などをチェックし、チェックが完了したら印刷業者40は本印刷を行ってカタログを搬出する。

【0058】このように、インターネット網に接続されたWWWサーバ21にてカタログを作成するためのカタログデータをカタログデータベースとして一括管理するとともに、パソコン12～15のブラウザからWWWサーバ21に接続したときに、所定の入力画面を表示させつつ、同入力画面における入力内容に応じてカタログデータベースを操作するようにしたため、カタログデータベースの内容をリアルタイムで共有することができ、カタログを容易、かつ短時間で作成することが可能なカタログ作成システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態にかかるカタログ作成システムを適用した場合のカタログ作成過程を示す概略図である。

【図2】同カタログ作成システムの具体的なネットワーク構成を示すブロック図である。

【図3】WWWサーバのディレクトリ構成である。

【図4】IDおよびパスワードの入力画面である。

【図5】IDおよびパスワードチェックを行うCGIスクリプトのフローチャートである。

【図6】パスワードファイルのレコードフォーマットである。

14

【図7】メニュー選択画面である。

【図8】新規入力画面である。

【図9】新規入力時におけるカタログデータベースへの登録処理を行うCGIスクリプトのフローチャートである。

【図10】新規入力時の写真選択画面である。

【図11】カタログデータベースファイルのレコードフォーマットである。

【図12】検索条件入力画面である。

【図13】チェック項目入力画面である。

【図14】各種スクリプトの階層構造を示す模式図である。

【図15】従来のカタログ作成過程を示す概略図である。

【符号の説明】

10…販売業者

12～15…パソコン

20…制作業者

21…WWWサーバ

20…ハードディスク

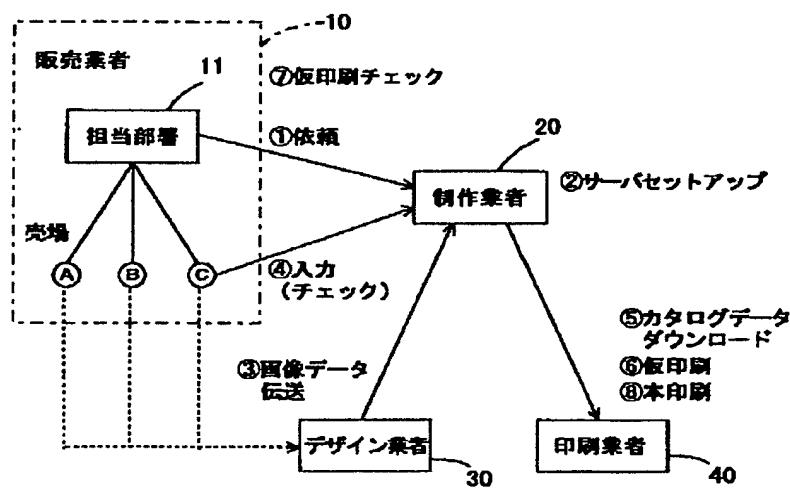
30…デザイン業者

40…印刷業者

50…公衆回線網

60…プロバイダ

【図1】



【図4】

お中元データベース
ID
パスワード

Figure 4 shows an input screen for a catalog database. It includes fields for 'お中元データベース', 'ID', and 'パスワード'.

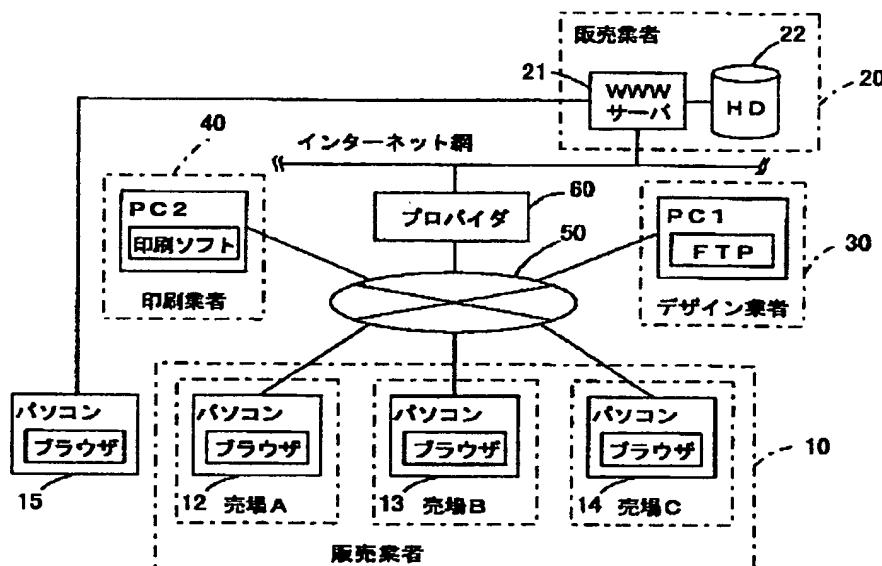
【図6】

利用者名	ID	パスワード	売場名	アクセス権限
------	----	-------	-----	--------

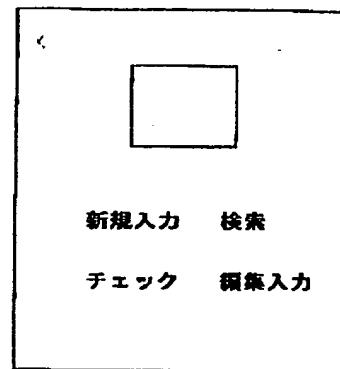
商品番号	商品名	価格	売場	ページ	画像データファイル名
------	-----	----	----	-----	------------

【図11】

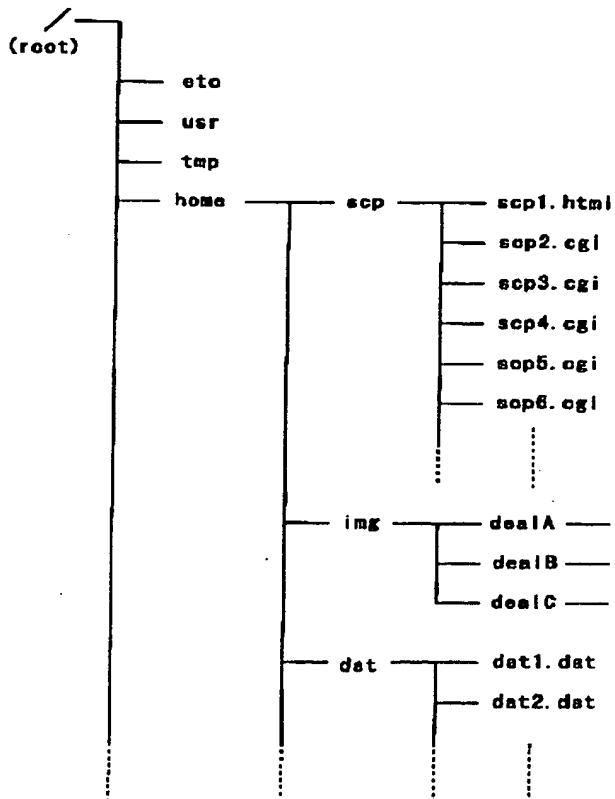
【図2】



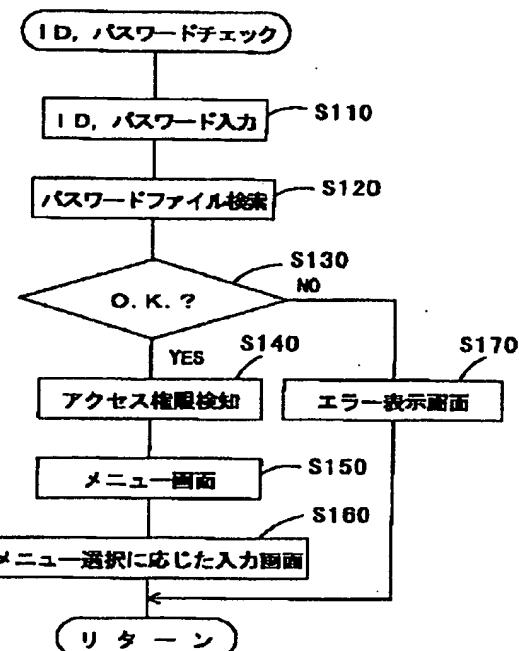
【図7】



【図3】



【図5】



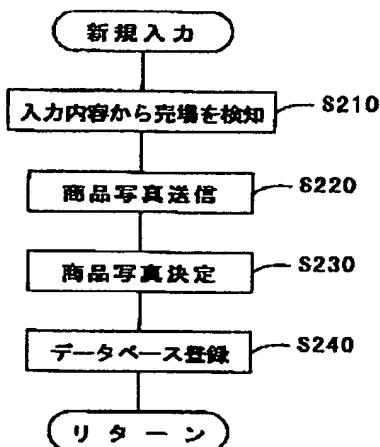
〔图8〕

新規入力

商品番号	<input type="text"/>	
商品名	<input type="text"/>	
価格	<input type="text"/>	
売場	<input type="text"/>	
A <input type="radio"/>	B <input type="radio"/>	C <input type="radio"/>
ページ	<input type="text"/>	

写真選択 **終了**

(图9)



〔図10〕

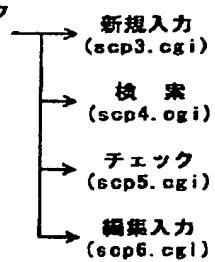
【图13】

【图12】

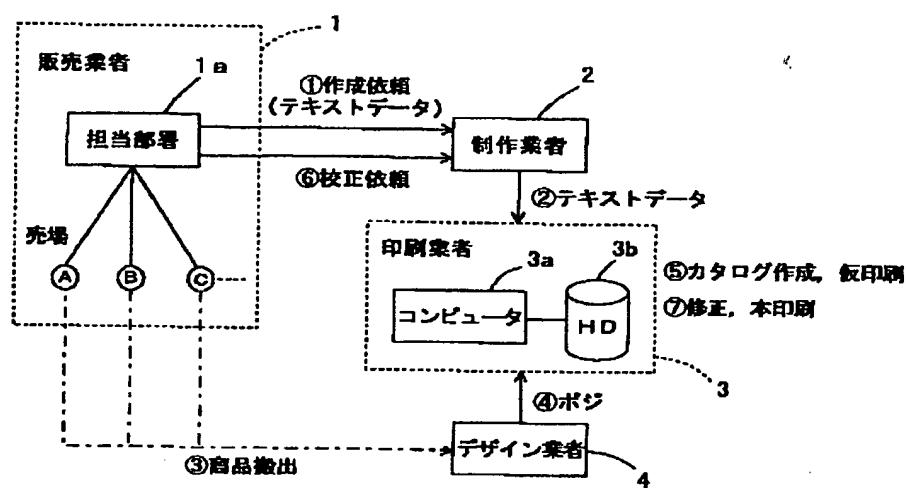
<input type="checkbox"/>	検索条件	
商品番号	<input type="text"/>	
商品名	<input type="text"/>	
ページ	<input type="text"/>	
兎 場	<input type="text"/>	
A <input type="radio"/>	B <input type="radio"/>	C <input type="radio"/>

[図14]

URL入力 → ID, パスワード入力 → メニュー選択
(sep1.html) (sep2.cgi)



【図15】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

識別記号

F I

G 06 F 15/403

320 A

H 04 L 13/00

305 C